

熊本市立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和6年度第10号（通巻97号） 3月11日発行

CONTENTS

高等部一般学級キャリア意識調査結果

生徒の自己評価、保護者アンケート、実習先アンケート結果より

高等部一般学級では、やがて社会人になっていく生徒たちに身につけてほしい行動を、具体的な行動目標として「キャリアアップ・チャレンジ5」と呼び、指導しています。年度末に当たり、キャリアアップ・チャレンジ5に関する生徒の自己評価と、保護者の皆様、実習先の皆様にお聞きした意識調査結果の概要を紹介します。

キャリアアップ・チャレンジ5

- 1 気持ちいいあいさつ返事
- 2 きちんとした身なり
- 3 ていねいなことばづかい
- 4 時間・約束を守ろう
- 5 そうじ・かたづけ

1 生徒自己評価

①ポジティブ(肯定的)評価の割合は？

はじめに生徒の自己評価の結果です。生徒は自分の行動について4段階で振り返りました。このうち、「よくできる」「できる」の回答は「ポジティブ評価」と考えられ、学年別、項目別に下表のようになります。

項 目	1 年	2 年	3 年	
1 気持ちいいあいさつ返事	88.2%	70.8%	92.3%	全学年で7割以上がポジティブ評価、とくに3年次ではもっとも高いポジティブ評価となっており、3年間で自己肯定感が確実に向上していると考えられる嬉しい結果です。特に3年生の「あいさつ返事」「時間・約束を守る」は9割以上がポジティブ評価となっています。このような自信（自己を信じる力）が、進路決定への大きな推進力になったものと考えられます。
2 きちんとした身なり	76.5%	79.2%	85.0%	
3 ていねいなことばづかい	82.4%	83.3%	84.6%	
4 時間・約束を守ろう	88.2%	70.8%	92.3%	
5 そうじ・かたづけ	70.6%	62.5%	53.8%	
総 合	81.2%	73.3%	81.6%	

に向上していると考えられる嬉しい結果です。特に3年生の「あいさつ返事」「時間・約束を守る」は9割以上がポジティブ評価となっています。このような自信（自己を信じる力）が、進路決定への大きな推進力になったものと考えられます。

②今年一年間での成長を感じるか？～

4月当初の自分と比較してどう思うか聞いた結果もポジティブ評価が69.2

	割合
とてもよくなった	15.4%
よくなった	53.8%
かわらない	30.8%

%にのびります。生徒のキャリア発達を促すためには、年度末等の節目に自己を振り返ったり、家族や支援者から成長と課題について評価を受けたりすることがとても重要で、社会へ巣立つ力となっていくことでしょう。「かわらない」と自信がもてない生徒にあっても、ご家族がお感じになったお子様の成長を、前向きに伝えることで成長を後押しできると考えます。年度末に是非話をしてください。

2 保護者アンケート結果より

①キャリアアップ・チャレンジ5を「知っていますか？」～保護者の認知度～

	1 年	2 年	3 年
知っている	37.5%	56.0%	81.8%
聞いたことがある	25.0%	36.0%	18.2%
知らない	37.5%	8.0%	0%

キャリアアップ・チャレンジ5を、「知っている」と答えた方は、学年進行に伴って増加し、3年次では「知

らない」と答えた方は0となっています。

キャリアアップ・チャレンジ5の重要性は折に触れてお伝えしていますので、特に現場実習前後の実習説明会や実習報告会など、進路に関する行事には是非お越し頂ければ幸いです。

②キャリアアップ・チャレンジ5を家庭で話題にしていますか？～親子の対話～

	1 年	2 年	3 年
よくある	6.3%	0%	18.2%
たまにある	56.3%	48.0%	54.5%
ない	37.5%	52.0%	27.3%

キャリアアップ・チャレンジ5を、家庭で話題にしているかを尋ねたところ、「ない」と答えた方が、まだま

だ多い現状です。保護者の皆様には、社会で働く先輩としての体験談を踏まえて、ご家庭でもキャリアアップ・チャレンジ5を話題にして頂ければ幸いです。

③この一年間の成長を感じますか？

	あいさつ返事	身なり	言葉づかい	時間約束を守る	そうじかたづけ
1 年生	75.0%	75.0%	68.8%	62.5%	37.5%
2 年生	84.0%	80.0%	68.0%	68.0%	52.0%
3 年生	90.9%	90.9%	81.8%	81.8%	63.6%

学年毎、項目毎のポジティブ評価は、学年が上がるに連れ確実に上昇していま

す。特に3年生保護者の評価が高く、学校と家庭が連携した取組の積み重ねが重要であることがわかります。

本校では「進路実現は団体戦」と表現し、生徒に関わる様々な立場の人が力をあわせることが重要です。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

（裏面へ続く）

3 実習先アンケート結果より

今年度高等部一般学級の現場実習にご協力頂いた実習先31カ所へ次表の項目でアンケートをお願いし、19件（内訳：福祉サービス事業所15、企業4）の回答を頂きました。

- ①キャリアアップチャレンジ5の行動を重視するか
※「とても重視する」「重視する」「あまり重視しない」の3段階で回答
②本校生徒がよくできていること（自由記述）
③本校生徒の課題（自由記述）
④本校生徒に必要な指導内容（自由記述）

ここでは、①と④の回答をご紹介します。①では、キャリアアップ・チャレンジ5の行動について、サービスの利用や採用を考える際に、実習先はどのようにお考えなのか、④では今後の学校・家庭教育に活かすべき内容は何かを確認することができました。

■各行動の重視度は？

項 目	とても重視する	重視する	あまり重視しない
1 気持ちいいあいさつ返事	31.6%	63.2%	5.2%
2 きちんとした身なり	31.5%	52.6%	15.8%
3 ていねいなことばづかい	10.5%	78.9%	10.5%
4 時間・約束を守ろう	73.7%	21.1%	5.2%
5 そうじ・かたづけ	15.8%	68.4%	15.8%

5つの行動の重視度は項目毎に左表のとおりです。結果から、「時間・約束を守ろう」の重視度が圧倒的に高いことがわかります。

世の中には、全てに通じる行動規範があり、また職場によって特有なルールが存在します。身近なルールや時間を守るとは、お子様の年齢や発達段階に応じて伝え成長につなげたいものです。

■学校や家庭に必要な指導内容は？

アンケート項目④に関して、非常に多くのアドバイスを頂きました。本校の生徒が社会参加するに当たって、期待を込めた貴重なご意見と捉え、抜粋してご紹介します。

- 気持ちの切り替え（仕事と休憩）
- 集中力・持続力
- 体力（A型や企業では立ち仕事、屋外作業も多いため）
- 休まずに出勤（登校）できる力
- 自分で移動する力
- 休み時間の過ごし方



- 時間を意識しながら行動すること
- 迷ったり不安になったりしたときには遠慮せずに周りの人に伝える力
- 自分から分からないことを質問する力
- 自分からの発信方法
- 働く意思・意識をその人なりに育てること
- 将来に備えたチャレンジ精神
はじめから苦手意識をもち、できないと決めつけてしまうとそれまでだが、うまくいかなくても支援で乗り越えられることもある。
- やる気の具体的姿＝「元気」、「スピード」、「やってみる精神」
やる気が見えない人、示せない人は案外多く、一緒に働く人からの評価が低くなりがち。やる気が相手に伝わるようにしないともったいない。
- 周囲の人の話にしっかり耳を傾けること
- TPOを考えた発言
- 学校と仕事の違い
- 嬉しいと思ったらありがたうと言うこと
- メモをとるなどの記録
- いろいろなあいさつや返事
通常のあいさつ、
場面でのあいさつ（すれ違った際など）
返答や返しのあいさつ、
学生は使わないであろうあいさつや返事、
「お疲れ様でした」、「もう一度教えてください」「難しくてわかりません」「考える時間をください」など



編集後記

アンケートからは、学校と家庭の連携の重要性が分かります。お子様のよりよい育ちのためには「学校と家庭が目標を共有すること」「子どもの成長を見つけ確かめ合うこと」が重要だと実感しました。

また、実習先からの評価は、生徒一人一人の進路希望に即して、これからどんな力を育む必要があるかがわかると思います。

キャリアアップ・チャレンジ5で求める行動は、高等部段階だけのものではありません。お子様が小さいうちから徐々に取り組んでつけた力の上に、将来の社会参加があると考えて、毎日をしていねいに過ごしたいものです。

進級進学の日々の3月。どうぞお子様の一年間の成長を振り返ってみてください。

（担当：高等部 谷口）